

2022年3月3日(木) No.3

「こんにちは、今日で卒業、片山結愛(3年)です。」

私は、名前はゆめなのに、しっかりとしたゆめもなく、でもバドミントンはしたいなあと思い西高に入学しました。3年間いいメンバーに恵まれて楽しかったです。いい看護師、そしていいお母さんになるでしょう、ひかさん。部室での大胆な脱ぎっぷりの着替えには参りました、あゆ。がに股ダブルスに定評がある、泣き虫りほと、ラブラブありさ。心臓に毛が生えているのか？物怖じしない、ノム。進む道はそれぞれですがまた会いましょう。入学時はゆめのなかった私ですが、今は2つの目標ができました。1つは管理栄養士になること。もう1つはバドミントンで2025年のデフリンピック(4年に一度開催される聴覚障害者のオリンピックのような大会)の日本代表になること。管理栄養士になるために大学で勉強をしながら、西高を拠点にバドミントンを続けます。頑張ります。

2022年2月25日(金) No.2

「こんにちは、口数の少ない大西彩友(3年)です。」

バドミントンでインターハイに出場したい、看護師になるために県立保健医療大学に入学したい、この2つの目標を実現するために西高に進学しました。バド部は部活と勉強を両立するために、練習が午後からの日は、午前中は自習室で勉強していたので、1日学校で過ごす日が多かったです。でも～、先生が知らないところでは～、懺悔タイム！ひかさんは、よく寝てました。起きてると思ったらあゆの後ろ姿の絵を描いてました。ゆめは、椅子と椅子を繋ぎ合わせてベットみたいにしてくつろいでました。でもでも大概是ちゃんとやってましたよ♡『話したい欲』と、魂が抜けそうな顔になりながらも『睡魔』と戦った3年間は良い思い出です。結果的にインターハイ出場は果たせませんでした。やりきった感があります。もうひとつの目標は達成することができました。合格を伝えたときの、半泣き顔の林先生とのハグは一生忘れません。今、林先生のパソコンラックには、受験で使った眉毛全開の私の証明写真が貼られています。これで1日たりとも私のことを忘れる日はないでしょう。

次は、蹴りこんだ自分の靴をとるために、西体階段横の密集した植え込みの中(結構枝痛そう)で、熊のように潜ったり、顔出したり、また潜る、ゆめ！

2022年2月18日(金) No.1

「こんにちは、前女子キャプテンの中川陽莉(3年)です。」

今日から少しずつ西高バドミントン部の実態を明らかにしていこうと思います。

西高バドミントン部は、他の部と比べものにならないくらい仲良しです。先生との距離も近く、何でも話せます。ちなみに恋バナもできます。林先生は、見た目は少し厳ついので、5年前に西高に来ることがわかったとき、当時の先輩たちに、一番ヤバイやつが来ると言われてたらしいです。でも、実はお茶目で、おしゃべりで、愛くるしいです。部活動のときは、一人一人にアドバイスをくれたりするので、部員はそれぞれが安心して、全力でバドミントンに取り組むことができます。

次は、口から生まれてきたと言われてもおかしくないくらいお喋りな、前女子副キャプテンあゆちゃん！お願いします！